

## 第3章 益田市の現状

### 1 益田市の概況

#### 1) 益田市の紹介

- ・市木：欒（けやき）
- ・市花：水仙

右写真：唐音水仙公園  
(鎌手地区)

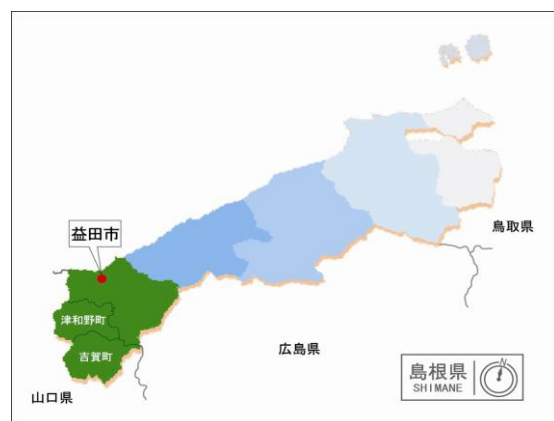


#### 【地理】

平成16年11月1日の益田市・美都町・匹見町の1市2町の合併により、総面積が733.24 Km<sup>2</sup>となり、島根県の面積の1割強を占めています。

島根県の最西端に位置し、山口県・広島県と接しています。北部は日本海に面し、海岸は白砂青松の石見潟を形成し、南部は中国山地に囲まれ、安蔵寺山等の山々が連なっています。

また、高津川と益田川の下流部に三角州に広がった益田平野には市街地が広がっています。



#### 【自然条件】

市域の大半を山林が占め、特に美都地域・匹見地域では96%近くを山林が占め、急峻な山々に囲まれています。また、市内を流れる高津川は2年連続日本一の清流に輝いた全国でも屈指の良好な水質を誇っています。

近年は温暖の傾向があり降雪量が少なくなっていますが、地域によって降雪量の差が大きく、山間部においては冬期の厳しい冷え込みと積雪があります。

各地区振興センター単位を基本にした健康づくり活動も総面積の広い益田市の特徴により、それぞれの地域性を活かした活動につながっています。

#### 2) 歴史・文化

古代から現在に至る豊かな歴史や文化があり、匹見地域の縄文時代の遺跡、益田平野及びその周辺の弥生時代の遺跡や古墳、平安時代に発見された丸山銅山、中世の益田氏城館跡や萬福寺・医光寺の雪舟庭園をはじめ数多くの文化財が残っています。

また、化学療法剤サルバルサンを発見した秦佐八郎博士などの多くの偉人を生み、飛鳥時代に活躍した歌聖・柿本人麿の出生・終焉の地として、さらには画聖・雪舟の来訪・終焉の地と言われており、全国に知られています。

### 3) 産業

産業構造を産業別就業者比率で見ると、平成 17 年の国勢調査では、第 1 次産業 10.6%、第 2 次産業 22.9%、第 3 次産業 66.1%となっています。

第 1 次産業と第 2 次産業の就業人口は年々減少傾向にある一方、第 3 次産業の就業人口は増加しており、県全体でもこうした産業構造の変化は続いています。

#### 【農林水産業】

農林水産業が盛んで、多くの特産品があります。農業においては、米をはじめ、ぶどう・メロン・トマト・ゆず・わさび等が多く生産されています。林業においては、積極的な森林施業が行われており優良な木材が豊富です。水産業においては、ハマグリや高津川のアユ・モクズガ二等の水揚げがあります。

平成 20 年から、益田ブランド認証品の取組みを始め、特産品の推奨を行っています。



#### 【地場産業】

これまで本市の発展を支えてきた繊維産業に加え、高度な技術力を有する機械金属加工業が近年伸びてきています。その一方で、平成 9 年に整備した石見臨空ファクトリーパーク等に誘致した企業の生産性が高く、製造業全体を牽引しています。

また、平成 22 年 4 月に産業振興の推進拠点として「産業支援センター」を設置し、企業間、産学官の連携や人材育成、事業活動への支援等を行っています。

### 4) 芸術・文化

「島根県芸術文化センター・グラントワ」が平成 17 年 10 月に開館し、島根県の芸術や文化の発信及び交流の拠点としての役割を担っています。

また、「ふれあいホールみと」や「益田市立雪舟の郷記念館」などの文化施設が市内に点在しており、各地域の文化を発信しています。

## 5) 交通

萩・石見空港が平成 5 年に開港し、空港を活用した観光の誘客、企業の誘致が行われています。

また JR 益田駅は、山陰と山口方面を結ぶ広域交通の結節点としての役割を果たしています。

さらに、鳥取・島根・山口の三県を結ぶ山陰自動車道の早期整備・完成による都市間を結ぶ広域交通網の整備への期待も高まっています。

## 4) 医療の現状

益田市内には、益田赤十字病院・益田地域医療センター医師会病院・松ヶ丘病院の3病院と、一般診療所54施設(内医師が常駐するのは45施設)があり、一般病床550床、精神病床215床、療養病床164床、結核病床8床、感染症病床4床を有しています。施設は市街地に集中し、周辺地域は国保診療所や出張診療所、益田市医師会の巡回診療で対応しています。

病院における医師の減少は著しく、救急医療を維持するための負担も大きくなっており、診療科の縮小も起こっています。特に、お産のできる施設は市内に益田赤十字病院のみとなり、平成20年11月からは「里帰り出産」もできない状況が続いています。助産師、看護師を含めた医療スタッフの確保が大きな課題となっています。

救急医療については、平成21年4月から益田市立休日応急診療所を開設し益田市医師会・益田市薬剤師会の協力を得て応急診療業務を行っています。また、第二次救急医療体制として病院群輪番制を基本に、益田赤十字病院及び益田地域医療センター医師会病院で対応しています。

地域医療を守るために近隣の津和野町・吉賀町と構成する益田医療圏としての取組みもますます重要になっています。平成21年には「益田の医療を守る市民の会」が発足し、市民の視点で地域の医療を守る活動が展開されています。これを市民の健康の保持増進につながる活動として、健康づくり活動と連携し取り組んでいくことが重要です。

### 【益田市の医療情勢】

#### ●病院別病床数

	一般	精神	療養	結核	感染症	合計(床)
益田赤十字病院	315			8	4	327
医師会病院	211		132			343
松ヶ丘病院		215				215
その他の診療所	24		32			56

平成 22 年 9 月 1 日現在

#### ●医療従事者数（病院+診療所）

医療従事者 届出数(人)	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	准看護師
	118	38	106	477	237

平成 20 年 12 月 31 日現在

(「医師・歯科医師・薬剤師調査」「厚生労働省大臣官房統計情報部」)

## 2 益田市の保健指標

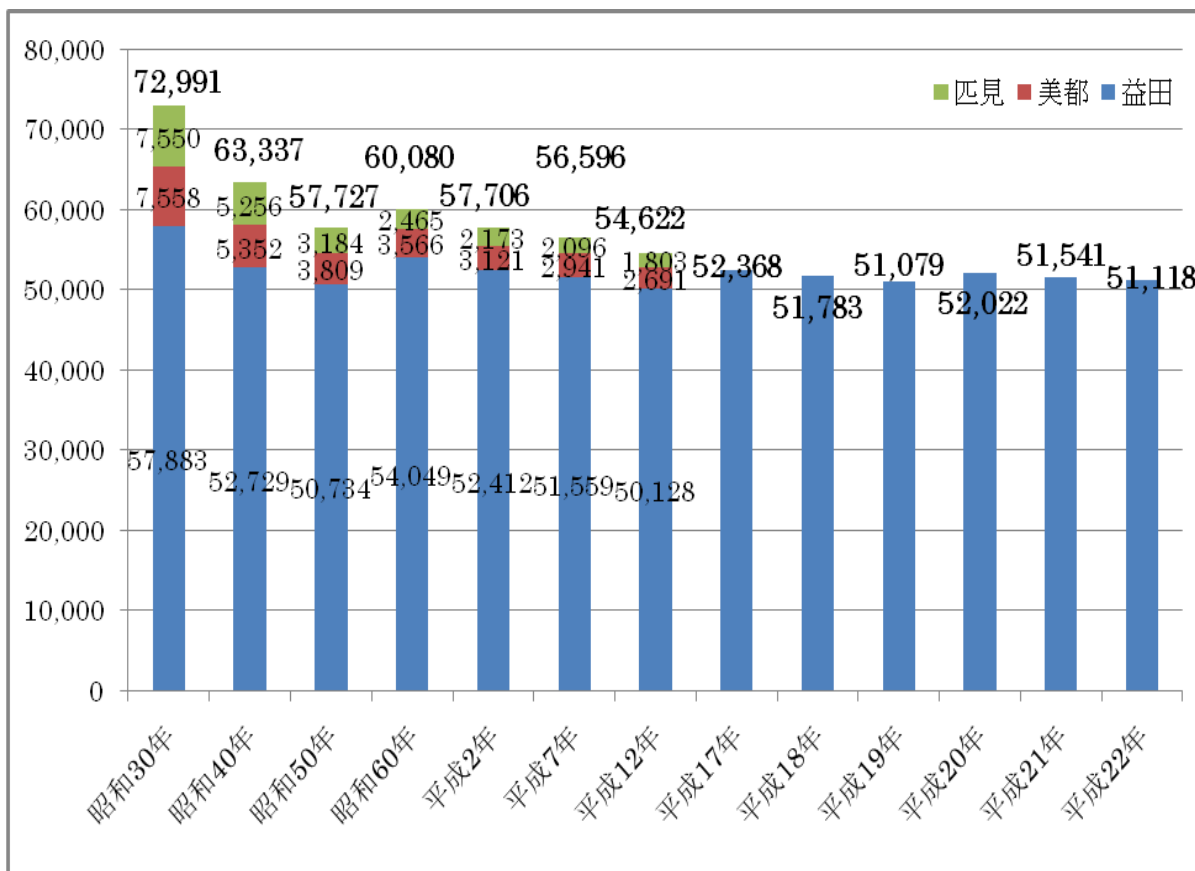
### 1) 人口の推移

総人口は昭和 60 年以降年々減少しており、国勢調査を基にした推計によると平成 27 年の推計人口は 5 万人を大きく下回ると予想されています。出生数と死亡数の状況を見ると、平成 17 年からは死亡数が出生数を上回り、約 200 人の自然減の状況が続いています。

また、高齢化率は平成 7 年から約 10%も高くなっており、急激な少子高齢化がうかがえます。

#### 【人口の推移】

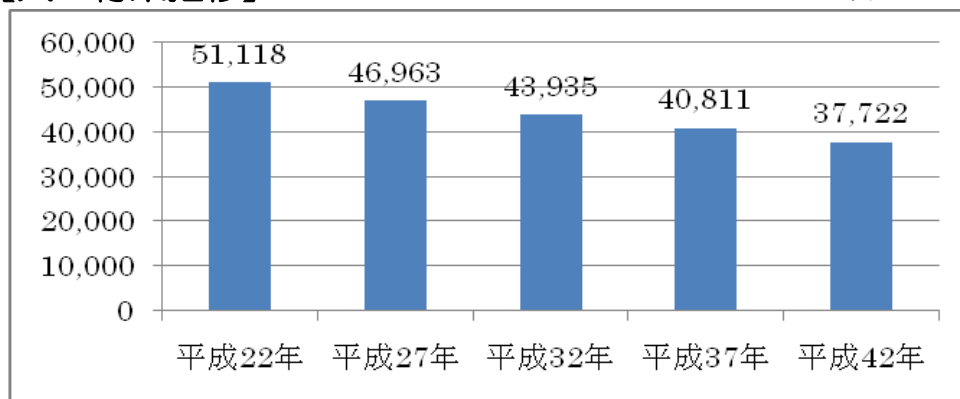
単位：人



注) 平成17年以降は合併後となり益田市に美都・匹見を含んだグラフとなっている

#### 【人口将来推移】

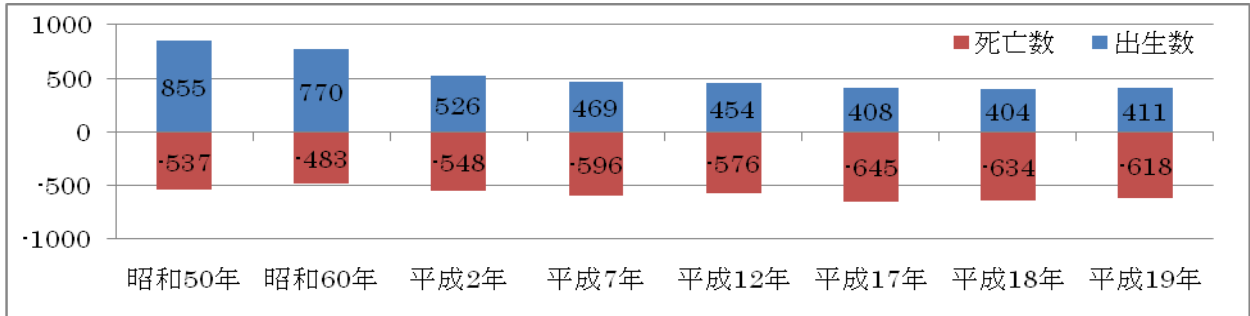
単位：人



(国立社会保障・人口問題研究所推計資料：平成 17 年国勢調査の結果 日本の市区町村将来別人口 (H20.12 月推計))

### 【人口動態(自然動態)】

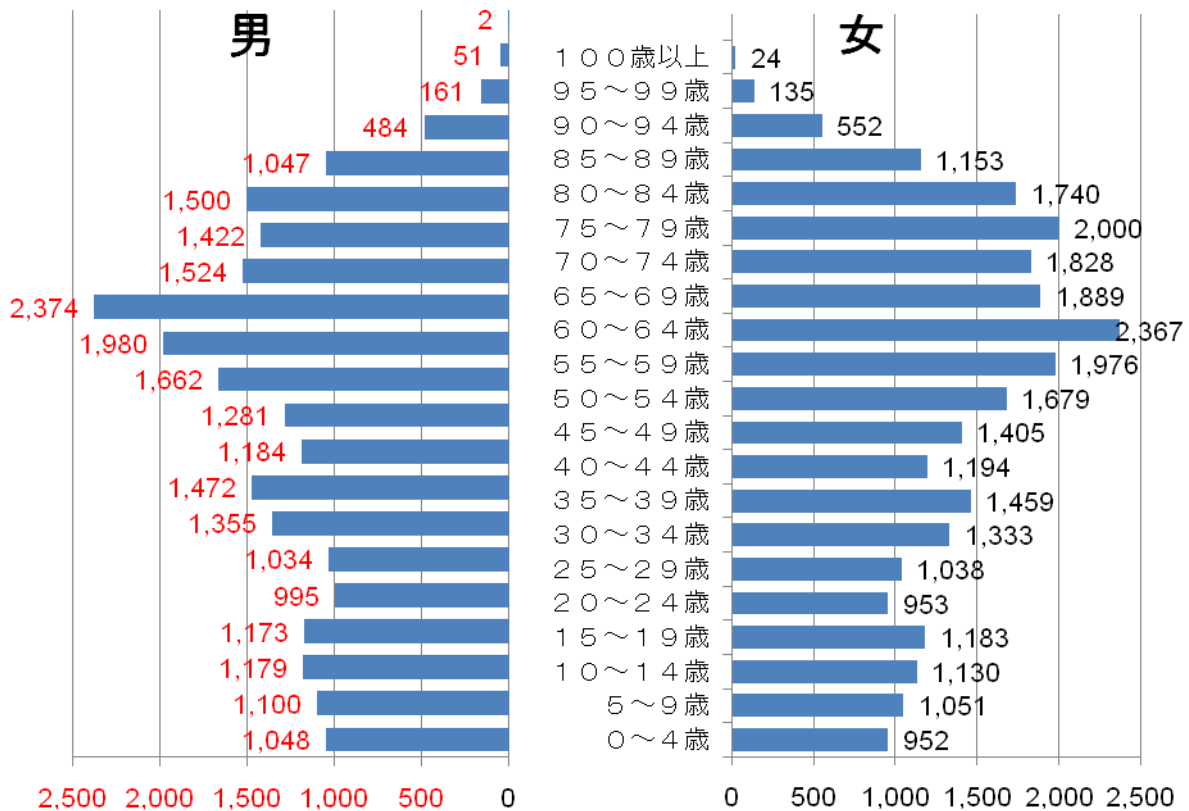
単位：人



資料 島根県保健統計書、住民基本台帳人口（外国人登録は含まれない）

### 【人口ピラミッド】

単位：人



(平成22年12月31日現在住民基本台帳人口)

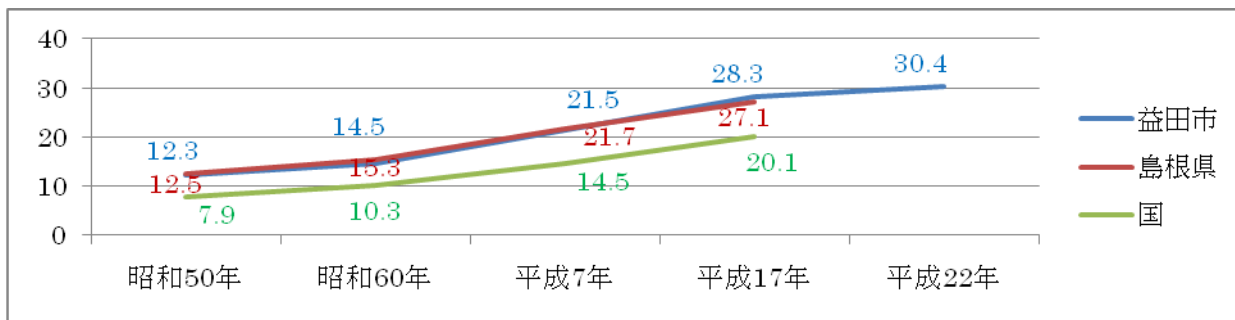
### 【世帯数と高齢化率】

		昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成22年
益田市	世帯数(戸)				19,329	19,167
	高齢化率(%)					
旧益田市	世帯数(戸)	14,561	18,534	17,355	17,664	
	高齢化率(%)	11.6	13.7	20.4	27.1	
旧美都町	世帯数(戸)	1,153	1,211	1,023	933	
	高齢化率(%)	17.7	15.8	30.1	36.2	
旧匹見町	世帯数(戸)	1,011	931	933	732	
	高齢化率(%)	16.7	24.9	36.0	53.5	

資料 国勢調査（平成22年の高齢化率は住民基本台帳人口）

【高齢化率の推移】

単位：％



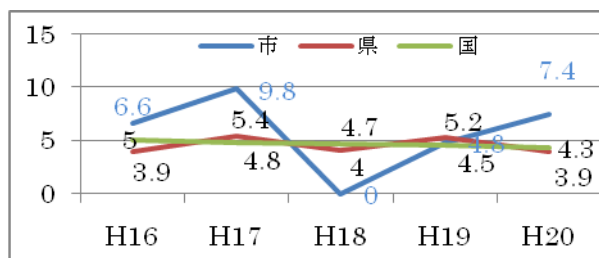
資料 国勢調査(昭和50年～平成17年)  
住民基本台帳人口(外国人登録は含まれない)

2) 母子の健康指標の状況

周産期死亡率<sup>10</sup>は近年島根県の2倍程度で推移しています。乳児死亡率は近年島根県よりも上回っており、原因としては先天奇形等によるものが多いですが、乳幼児突然死症候群<sup>11</sup>によるものもみられます。幼児死亡数はあまり変化が見られず、益田市では1歳の死亡が多くなっています。原因としては、乳児死亡と同様に先天奇形等に起因するものがほとんどですが、不慮の事故によるものもみられます。低出生体重児の割合はほぼ横ばいであり、全国と島根県とほとんど状況は変わりません。

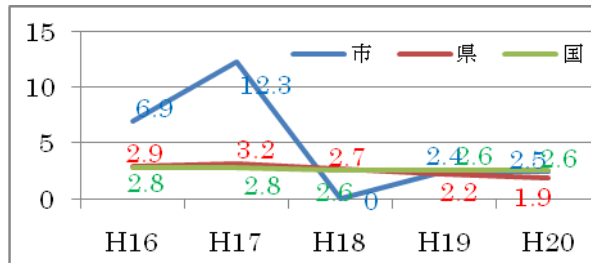
【周産期死亡率】

単位：出生 1000 対



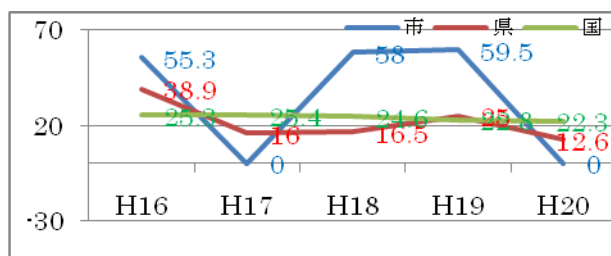
【乳児死亡率】

単位：出生 1000 対



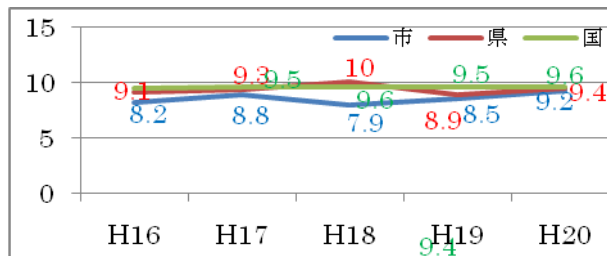
【幼児死亡率】

単位：人口 10 万対



【低出生体重児の割合】

単位：％



資料 島根の母子保健  
島根県健康指標マクロ

<sup>10</sup>周産期死亡率：1年間の出生1000に対して妊娠満22週以降の死産率と生後1週間未満の早期新生児死亡率を加えたもの。

<sup>11</sup>乳幼児突然死症候群=SIDS(シズ)：何の予兆もないままに、主に1歳未満の健康にみえた乳児に、突然死をもたらす疾患であり、原因は不明である。

### 3) 平均寿命・平均自立期間

平均寿命は<sup>12</sup>、男女ともに全国や島根県よりも1歳程度短い状況にあります。しかし、平均自立期間は平成18年をみると、男性は島根県とほぼ同じで女性は0.2歳長い状況にあります。

また要介護の原因は、筋力・体力の低下の次に認知症・脳卒中・骨折の順となっています。

#### 【男女別平均寿命】

単位：年

	平成12年					平成18年		
	益田市	美都町	匹見町	島根県	全国	益田市	島根県	全国
男	76.5	77.0	76.7	77.6	77.7	<b>77.95</b>	78.60	78.8
女	85.0	84.4	84.5	85.4	84.6	<b>85.75</b>	86.40	85.6

資料 島根県健康指標マクロ（標記年を中心とした5年間平均）

#### 【65歳の男女別平均余命<sup>11</sup>と平均自立期間】

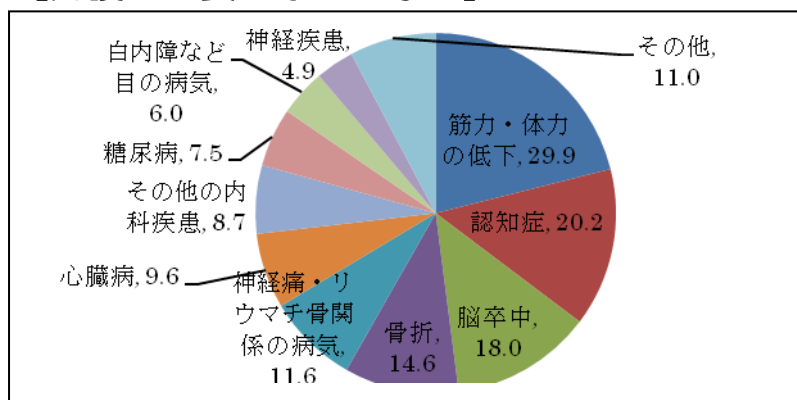
単位：年

		平成12年				平成18年	
		益田市	美都町	匹見町	島根県	益田市	島根県
平均余命	男	17.70	16.62	18.57	17.85	18.65	18.58
	女	22.94	22.71	23.32	23.11	24.01	23.93
平均自立期間	男	16.12	15.11	17.29	16.28	16.62	16.69
	女	20.16	22.11	20.95	20.16	20.76	20.56

資料 島根県健康指標マクロ

#### 【介護が必要になった原因】

単位：%



資料 益田市 平成19年度高齢者実態調査集計結果  
（支援や介護が必要となったことに、強く影響したと思われる病気の主なもの2つ以内）

<sup>12</sup> 平均寿命：0歳の人があと何年生きられるかを示したもの。

<sup>13</sup> 平均余命：ある年齢の人々がその後何年生きられるかという期待値のこと。

## 4) 死亡の状況

各疾患の年齢調整死亡率<sup>14</sup>の推移をみると、益田市は概ね減少傾向にあります。県と比較すると、脳血管疾患と心疾患がわずかに県を上まわっています。以前高率であった自殺は、近年急減し県を下まわっています。

\* は県と比較して数値の差が大きい項目

【年齢調整死亡率（標記年を中心とした5年間平均）の推移】人口10万人あたり

			合計				男性				女性			
			平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年
全 が ん	全 年 齢	市	146.4	136.3	143.2	134.6	208.6	189.4	210.5	192.1	100.6	99.3	96.0	91.8
		県	144.6	148.2	140.7	136.5	209.4	214.1	207.2	199.3	97.8	101.2	92.9	90.2
	壮 年 期	市	180.1	131.7	139.5	157.9	232.3	172.0	176.3	206.4	133.6	96.1	106.4	112.8
		県	166.9	165.5	151.1	145.2	223.1	213.7	195.8	188.7	116.9	121.7	109.8	102.4
	老 年 期	市	817.5	860.1	898.6	777.0	1255.6	1290.3	1426.5	1167	517.1	568.2	551.5	514.3
		県	819.5	868.9	849.2	830.3	1267.3	1355.8	1349.3	1299.9	524.5	549.9	516.6	515.5
脳 血 管 疾 患	全 年 齢	市	70.7	65.1	52.7	42.4	92.9	81.9	74.1	56.9	54.9	53.2	38.7	32.2
		県	69.4	62.8	50.7	38.4	88.7	83.0	69.9	52.8	55.8	48.9	37.3	28.1
	壮 年 期	市	40.9	37.8	30.6	26.0	49.4	53.1	43.5	34.9	32.9	24.3	18.8	18.0
		県	39.8	33.2	31.1	23.2	55.9	45.5	43.3	32.6	25.1	21.9	19.4	13.8
	老 年 期	市	539.0	507.0	405.0	315.3	712.5	621.2	564.3	426.5	424.6	434.3	312.4	242.1
		県	529.0	491.1	382.0	291.7	657.3	640.7	525.4	400.2	450.7	398.2	292.2	220.9
心 疾 患	全 年 齢	市	96.0	64.6	52.9	55.1	119.7	76.5	67.5	79.6	77.4	55.9	41.6	36.1
		県	91.7	65.2	55.4	55.1	119.6	86.1	75.9	75.8	71.6	49.1	39.7	38.4
	壮 年 期	市	53.4	44.2	31.7	54.6	81.1	64.2	51.2	82.6	28.1	25.9	14.4	28.2
		県	50.7	40.9	36.1	38.7	78.3	64.7	58.1	60.5	25.8	18.3	15.0	16.9
	老 年 期	市	726.6	455.7	387.3	350.1	876.5	537.3	468.2	488.0	618.4	401.2	332.6	259.3
		県	690.3	477.2	399.0	386.1	867.6	598.6	518.4	505.5	579.9	397.9	321.6	303.9
糖 尿 病	全 年 齢	市	4.3	3.9	4.5	5.0	6.6	3.8	5.1	7.5	2.5	3.9	3.7	2.8
		県	5.3	5.4	4.3	4.3	7.0	7.2	5.7	6.3	4.0	3.9	3.2	2.6
	壮 年 期	市	6.1	1.9	3.0	3.5	10.1	2.1	4.6	5.2	2.5	1.8	1.5	2.0
		県	4.7	5.4	3.7	3.7	7.1	8.6	5.0	6.2	2.7	2.4	2.6	1.3
	老 年 期	市	22.9	31.2	28.1	37.0	32.6	29.9	23.4	56.4	16.1	32.1	30.9	20.8
		県	35.7	34.6	29.3	28.4	44.4	41.2	39.0	39.1	30.4	30.2	21.6	20.3
自 殺	全 年 齢	市	20.6	24.4	37.5	22.3	33.5	39.9	58.6	36.3	9.7	11.1	17.8	9.3
		県	19.8	21.3	25.4	25.7	29.1	32.5	41.1	41.6	11.5	10.8	10.4	10.3
	壮 年 期	市	33.2	40.0	51.4	34.0	50.1	69.6	85.1	50.3	17.3	12.5	19.1	18.0
		県	30.6	36.0	41.5	40.6	45.2	56.5	69.4	65.3	16.9	16.0	13.9	15.8
	老 年 期	市	45.9	51.4	57.8	25.0	79.3	78.3	78.7	44.3	23.8	36.7	42.4	11.2
		県	45.0	38.7	39.8	35.5	60.6	55.4	58.6	58.1	35.1	27.5	27.0	19.2

資料 島根県島根県健康指標マクロ

注) 市：益田市 県：島根県 壮年期：40～64歳 老年期：65歳以上

<sup>14</sup>年齢調整死亡率：年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率。



平成20年の死亡順位をみると、1位と2位は全国・島根県と同じですが、3位は肺炎となっています。

【平成20年死亡順位上位10位】

単位：％

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
益田市	悪性新生物 28.3	心疾患 15.4	肺炎 12.7	脳血管疾患 10.2	老衰 4.6	不慮の事故 4.0	腎不全 2.2	慢性閉塞性肺疾患 2.0	自殺 1.4	糖尿病アルツハイマー 1.2
島根県	悪性新生物 28.2	心疾患 15.5	脳血管疾患 11.0	肺炎 10.4	老衰 4.2	不慮の事故 3.3	自殺 2.4	腎不全 2.4	慢性閉塞性肺疾患 1.6	肝疾患 1.2
全国	悪性新生物 30.0	心疾患 15.9	脳血管疾患 11.1	肺炎 10.1	不慮の事故 3.3	老衰 3.1	自殺 2.6	腎不全 2.0	肝疾患 1.4	慢性閉塞性肺疾患 1.4

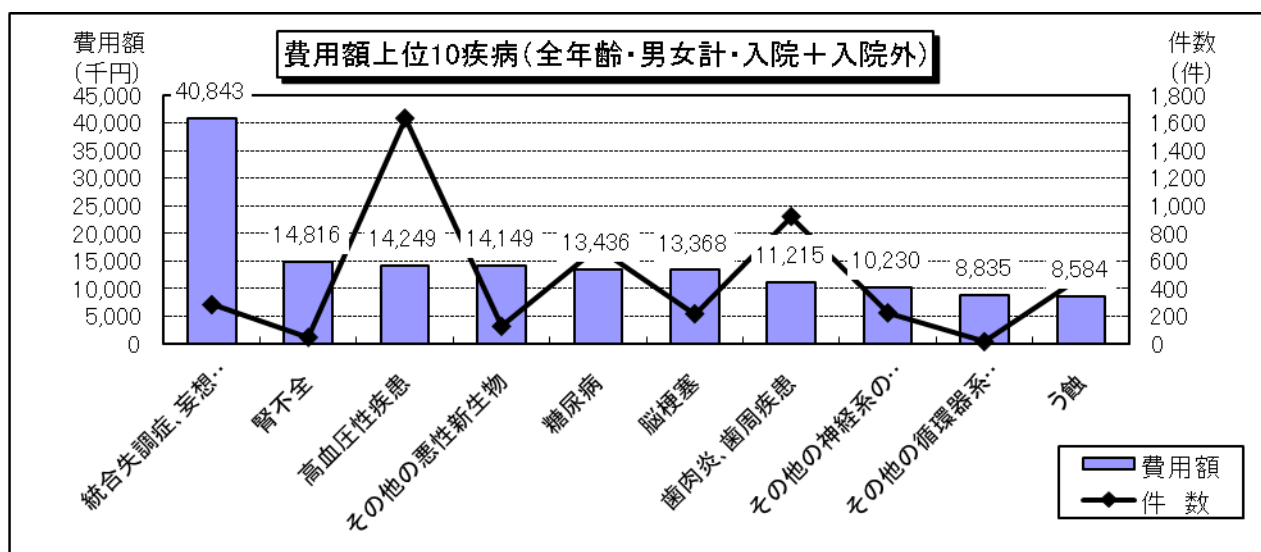
資料 島根県保健統計書

### 5) 国民健康保険の医療費の状況

医療費総額は年々上がっています。費用額の上位疾病をみると、総合失調症・妄想・幻聴は著しく高く、次いで腎不全、高血圧性疾患となっており、過去5年間の順位は概ね同じとなっています。

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
被保険者数(人)	21,170	21,040	13,940	13,864	13,465
後期高齢者(人)			8,477	8,716	8,890
医療費総額(円)	692,807,124	684,968,620	323,422,616	319,401,762	329,116,140
後期高齢者 同上			458,971,098	489,820,152	515,796,324
1人あたり費用額(円)	32,725	32,555	23,210	23,038	24,442
県合計		35,068	23,526	23,415	24,190
後期高齢者 同上			54,143	56,798	58,019
県合計			57,439	57,669	59,388

資料 島根県国民健康保険団体連合会 疾病統計表(各年5月診療分)



(平成22年5月診療分)

## 6) 保健事業の状況

### (1) 母子保健事業

母体や胎児の健康を確保し、出産に伴うリスクを軽減します。また、乳児の健やかな成長発達を確認し、疾病や異常の早期発見、早期治療につなげていきます。

#### ① 妊娠期事業

【妊娠届出数】（転入含む）

単位：人

	届出数	11週までの届出
平成19年度	416	332
平成20年度	409	341
平成21年度	422	359

#### ② 乳幼児期事業

【乳幼児健康診査受診率】

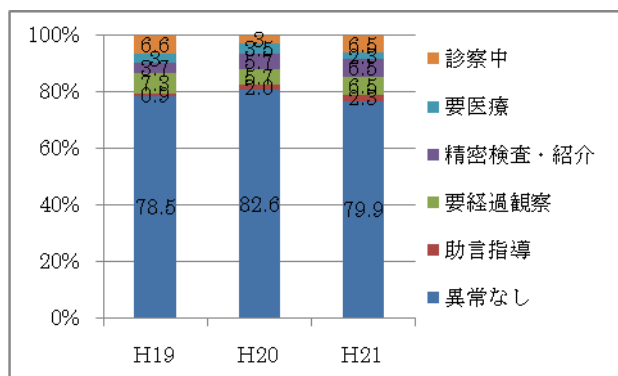
単位：%

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
乳児健診	94.3	95.7	97.3
1.6歳児健診	93.7	92.8	93.7
2歳児歯科健診	84.2	86.9	82.7
3歳児健診	88.0	88.1	90.2

#### ● 乳児健康診査結果

単位：人

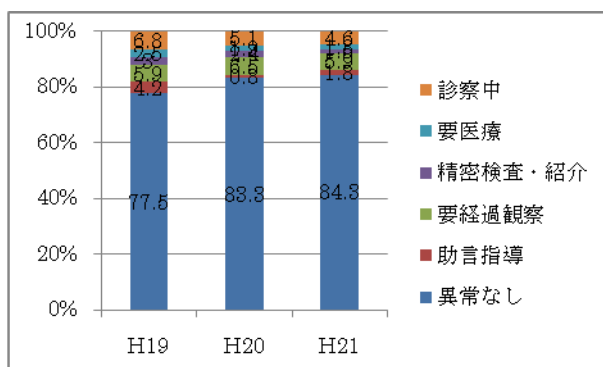
	H19	H20	H21
異常なし	335	332	283
助言指導	4	8	8
要経過観察	31	13	9
精検・紹介	16	23	23
要医療	13	14	8
診察中	28	12	23
不明	0	0	0
合計	427	402	354



#### ● 1.6歳児健康診査結果

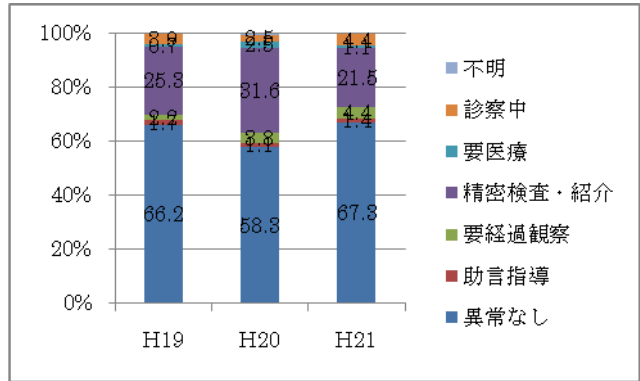
単位：人

	H19	H20	H21
異常なし	366	309	327
助言指導	20	3	7
要経過観察	28	24	23
精検・紹介	14	9	6
要医療	12	7	7
診察中	32	19	18
不明	0	0	0
合計	472	371	388



●3 歳児健康診査結果 単位：人

	H19	H20	H21
異常なし	303	214	247
助言指導	8	4	5
要経過観察	10	14	16
精検・紹介	116	116	79
要医療	3	9	4
診察中	18	9	16
不明	0	1	0
合計	458	367	367



③ 訪問指導

【妊産婦・新生児訪問事業】（委嘱助産師訪問） 単位：人

	妊産婦	新生児	計
平成19年度	183	153	336
平成20年度	199	164	363
平成21年度	243	210	453

【こんにちは赤ちゃん訪問事業】 単位：人

	対象件数	訪問件数
平成20年度	314	161
平成21年度	376	204

※こんにちは赤ちゃん訪問事業は平成20年度より実施

④ 発達クリニックの状況

単位：人

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
受診児数	15	21	28

(2) 生活習慣病予防

健（検）診受診率の向上、精密検査未受診者への取組み、要指導者への保健指導の充実等を目標に事業を推進しています。

① 特定健康診査受診率

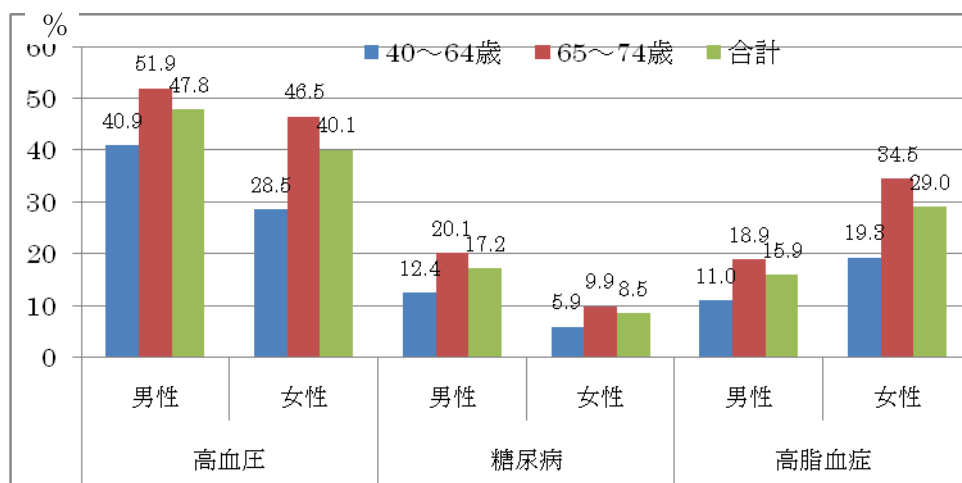
		平成20年度	平成21年度
39歳以下	受診者数（人）	149	87
	精密検査受診率（%）	100	対象者なし
40～74歳	受診者数/対象者数（人）	2,856人/9,868	3,213人/9,684
	受診率（%）	28.9	33.2
	精密検査受診率（%）	33.8	51.1
75歳以上	受診者数（人）	487	429
	精密検査受診率（%）	68.2	73.5

② 特定健康診査結果（平成 21 年度）

【高血圧・糖尿病・高脂血症有病者数】

単位：人

	高血圧		糖尿病		高脂血症		受診者総数	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
40～64 歳	198	213	60	44	53	144	484	748
65～74 歳	418	629	162	134	152	466	806	1,352
合計	616	842	222	178	205	610	1,290	2,100



注) 以下の条件に該当する人を有病者とする

高血圧 服薬あり 服薬なしで収縮期血圧 140mmHg 以上または拡張期血圧 90mmHg 以上

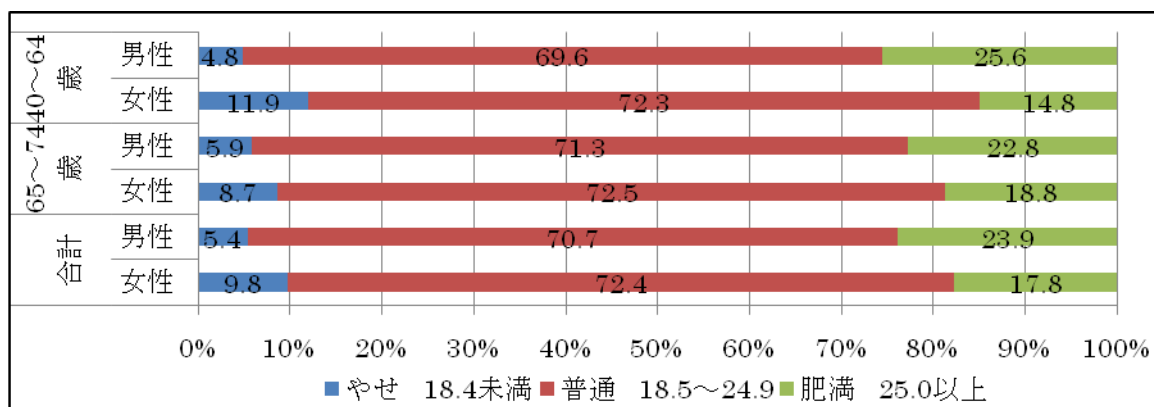
糖尿病 服薬あり 服薬なしで空腹時血糖 126 g/d l 以上または HbA1 c6.1%以上

高脂血症 服薬あり 服薬なしで中性脂肪 300 g/d l 以上または HDL34 未満または LDL140 g/d l 以上

【BMI 肥満】

単位：人

	やせ 18.4 未満		普通 18.5～24.9		肥満 25.0 以上		受診者総数	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
40～64 歳	23	88	336	540	124	110	483	748
65～74 歳	47	118	572	979	183	254	802	1,351
合計	70	206	908	1,519	307	374	1,285	2,099



資料 島根県 平成 21 年度市町村国保特定健康診査結果データ

③ 特定保健指導

	平成 20 年度	平成 21 年度
対象者数	367 人	423 人
参加者数	46 人	75 人

④ がん検診受診率

		平成 17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
胃 が ん	受診者数(人)	929	921	856	806	836
	受診率(%)	5.2	5.1	4.8	4.5	4.7
	発見者(人)	2	1	3	1	0
肺 が ん	受診者数(人)	988	967	160	157	215
	受診率(%)	5.5	5.4	0.9	0.9	1.2
	発見者(人)	2	0	0	0	2
大腸 が ん	受診者数(人)	2,145	2,354	2,274	2,289	2,259
	受診率(%)	12.0	13.1	12.7	12.8	12.6
	発見者(人)	2	3	4	4	5
乳 が ん	受診者数(人)	55	95	129	236	736
	受診率(%)	0.5	0.8	1.2	2.1	6.5
	発見者(人)	0	0	1	1	2
子宮頸 が ん	受診者数(人)	1,159	1,086	1,093	1,155	1,328
	受診率(%)	9.2	8.6	8.7	9.2	10.6
	発見者(人)	1	0	1	0	1

(注)平成 17・18 年度の肺がんの数値は美都・匹見地域において肺がん結核検診として実施した数値。  
平成 19 年度より 40 歳～69 歳を対象とした肺がん検診の数値。

⑤ 歯周疾患健診受診者数

単位 人

	平成 19 年度	20 年度	21 年度
40 代	0	0	2
50 代	0	0	1
60 代	3	1	2
70 代	4	5	2

⑥ 健康教育

【衛生教育】

	平成 19 年度	20 年度	21 年度
回数(回)	249	257	341
参加延人数(人)	4,768	6,126	8,266

【健康教室】

	平成 19 年度	20 年度	21 年度
回数(回)	173	134	91
参加延人数(人)	1,445	3,278	1,155

## ⑦ 健康相談

	平成19年度	20年度	21年度
回数(回)	110	205	200
参加延人数(人)	1,015	2,655	3,087

## ⑧ 訪問指導

	平成19年度	20年度	21年度
実人員(人)	234	117	65
延人員(人)	240	135	81

## (3) 介護予防

高齢者がいつまでも住み慣れた地域でいきいきと暮らすために、介護予防の取組みが身近な場所で定期的に行われるように、関係機関と連携して事業を推進しています。

## 【予防教室】

	平成20年度	21年度
回数(回)	1,072	867
参加延人数(人)	10,772	9,683

## (4) 精神保健

関係機関との連携をはかり、こころの健康についての予防啓発や相談窓口の周知を行い早期対応のできる体制づくりを推進しています。

## ① 個別相談

	平成19年度	20年度	21年度
実人員(人)	11	12	12
延人員(人)	60	88	52

## ② 訪問指導

	平成19年度	20年度	21年度
実人員(人)	4	8	2
延人員(人)	9	25	6

## ③ 電話相談

	平成19年度	20年度	21年度
件数(件)	2	80	145